

日本医療マネジメント学会 第10回神奈川支部学術集会

The 10th Japan Society for Health Care Management in Kanagawa

プログラム・抄録集

テーマ

チャレンジする心、将来の医療を見据えて
—満足のための医療のために—

期 日 2011年3月5日(土)
会 場 伊勢原市民文化会館
伊勢原市田中348 Tel 0463-92-2300
大ホール(第1会場)
大ホール ホワイエ(ポスター会場)
小ホール(第2会場/ランチョンセミナー/市民公開講座)
リハーサル室(幹事会会場)

当番世話人 高木 繁治
東海大学医学部附属病院 副院長, 神経内科教授

事務局 東海大学医学部神経内科教授室内(秘書 岩田)
〒259-1193 伊勢原市下糟屋143
TEL 0463-93-1121(内線2241)
E-mail 10jhmk@tokai-u.jp
ホームページ <http://10jhmk.med.u-tokai.ac.jp/>

タイムスケジュール

第1会場	大ホール	第2会場	小ホール	ポスター会場	大ホールホワイエ	幹事会	リハーサル室	
9:00		参加受付・データ受付 9:15開始		9:15				
9:50		開会挨拶 第10回当番世話人 高木 繁治 会長挨拶 神奈川支部会長 山本 登						
10:00		10:00		ポスター掲示 クリティカルパス掲示				
11:00		口演 A-I 医療の質と満足 (9題) 座長：吉塚 弥生 (1-4) 小西 洋子 (5-9) A-II 人材育成 (5題) 座長：田口 進 (10-14)						
		口演 B-I 医療安全 (9題) 座長：谷亀 光則 (1-5) 武者 春樹 (6-9) B-II 褥瘡、感染 (4題) 座長：村田 升 (10-13)						
11:40		11:35						
12:00		基調講演 脳卒中の地域連携 問題点と今後 高木 繁治 司会：高橋 俊毅		12:00				
12:30		教育講演 がんの地域連携 問題点と今後 佐藤 靖郎 司会：山本 登		ポスター閲覧 クリティカルパス閲覧				
12:40		12:40						
13:00		ランチョンセミナー 脳卒中診療におけるCSR (Corporate Social Responsibility) —Stakeholder (患者さん・クリニック・ 病院)の視点から— 入江 克美 司会：高木 繁治						
13:30		13:30						
14:00		休憩(昼食時間)		13:30		幹事会		
14:00		14:00		14:00				
14:40		特別講演 病院のトップマネジメントはどうあるべきか —病院事業管理者になって考える— 別所 隆 司会：高木 繁治		市民公開講座 震災後のエコノミークラス症候群と その予防 榛沢 和彦 司会：鈴木 利保				
15:00		15:30		14:50				
15:00		パネルディスカッション チームで取り組む新しいJob 司会：小山 珠美 司会：藤井 幸子 佐藤 克美 小山 珠美 黒田 啓子 中村 明宏		P ポスター発表 (11題) 座長：成島 道昭 (1-6) 長田 悟 (7-11) C クリティカルパス展示 (4題)				
15:50				15:50				
16:00		16:00		ポスター撤去 クリティカルパス撤去				
17:00		口演 A-III 栄養と嚥下 (7題) 座長：野口 球子 (15-18) 佐藤 譲 (19-21) A-IV 地域連携 (7題) 座長：藤井 穂波 (22-24) 波多江 優 (25-28)		口演 B-III クリティカルパス (5題) 座長：宮崎 美子 (14-18) B-IV その他 (7題) 座長：坂元 了子 (19-21) 後藤 美恵子 (22-25)				
17:30		17:25		17:30				
17:30		閉会挨拶 第11回当番世話人 武者春樹						

世話人あいさつ

第10回神奈川支部学術集会を開催するにあたって



当番世話人

高木 繁治

東海大学医学部付属病院副院長、
神経内科教授

この度、日本医療マネジメント学会第10回神奈川支部学術集会の当番世話人を務めさせていただくことになり、大変光栄に存じておりますとともに、その重責を実感しております。この学会は医療マネジメントに関する学術、研究の交流をはかり、医療の進歩に資することを目的としております。神奈川県支部の会員数はおよそ300名を越えており、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床心理士、MSW、事務職など医療に係る多職種が参加しております。医療をめぐる多くの職種が一同に会し、医療の質の向上、医療安全、効率性、医療連携など医療現場の重要な点を議論できる有意義な学会であると考えております。

第10回神奈川支部学術集会は、キャッチフレーズを

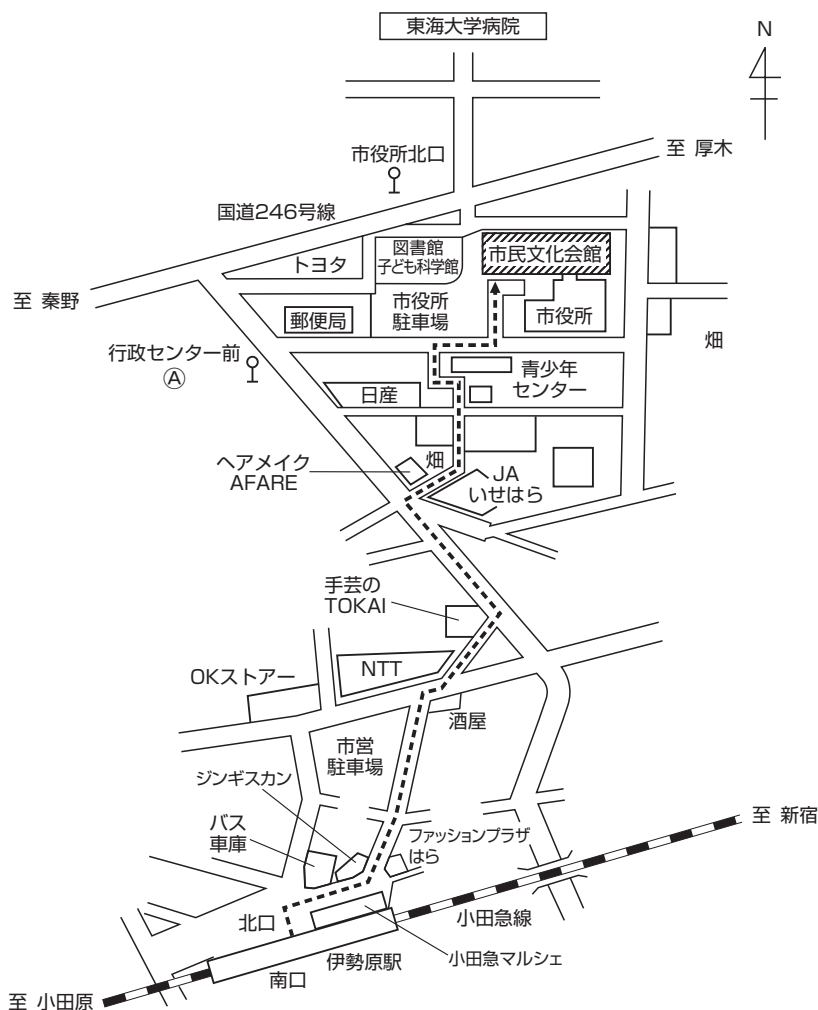
【チャレンジする心、将来の医療を見据えて一満足の医療のために一】

として開催します。特別講演・教育講演・基調講演を各1題ずつ予定しております。また演題の応募をお願い致しましたところ、パネルディスカッション4題、口演53題、ポスター11題、クリティカルパス展示4題と多数の応募を頂き心より御礼申し上げます。本学術集会が、皆様にとって有意義な会となることを確信しております。また、参加される方々の便宜をはかるため、神奈川支部学術集会としてははじめてランチョンセミナーを開催いたしますので、振るってご参加ください。さらに本学術集会を一般市民への医療情報を提供するよい機会としてとらえ、前回にひきつづき市民公開講座を開催いたします。また、本学術集会は、伊勢原市および多数の学術団体のご後援をいただいております。また日本医師会生涯教育講座5単位、神奈川県病院薬剤師会後援研修4単位に認定されております。

東海大学病院では毎年“Good Jobコンテスト”と称して、教職員の自発的な業務改善の発案と努力を促す催しをおこなっております。その中から最優秀Jobをはじめとして、医療マネジメントに関連するものを今回の学術集会に多数応募いただきましたので、その内容にもご注目ください。

伊勢原は神奈川県のはほぼ中央にあり、「大山参りの風情と豊かな自然と歴史、文化にはぐくまれたまち」です。本日は市民文化会館で活発なご発表、ご討議をしていただき、明日の医療にお役立ていただくことを祈念しております。

伊勢原市民文化会館へのアクセス



小田急線伊勢原駅下車、改札口は1つで、出て右が北口、左が南口です。

【バスを利用する場合(南口から170円)(一番お勧めです)】

南口バス乗り場4番から「東海大学病院行き」に乗車。4つ目の「行政センター前」①で下車(170円)。進行方向に進み、郵便局の手前で信号を右にまがります。駐車場(左)を通り過ぎると、左手奥にあります。徒歩3分。当日は大学病院の診療日のため、通常の便(15分毎)の他に、多数の臨時便がでています。

【タクシーを利用する場合(お急ぎの時に便利です)】

北口タクシー乗り場からどうぞ。混雑していなければ710円で着きます。5分くらいです。南口のタクシー乗り場も利用できますが、すこし回り道になります。

【徒歩の場合(徒歩13分)】

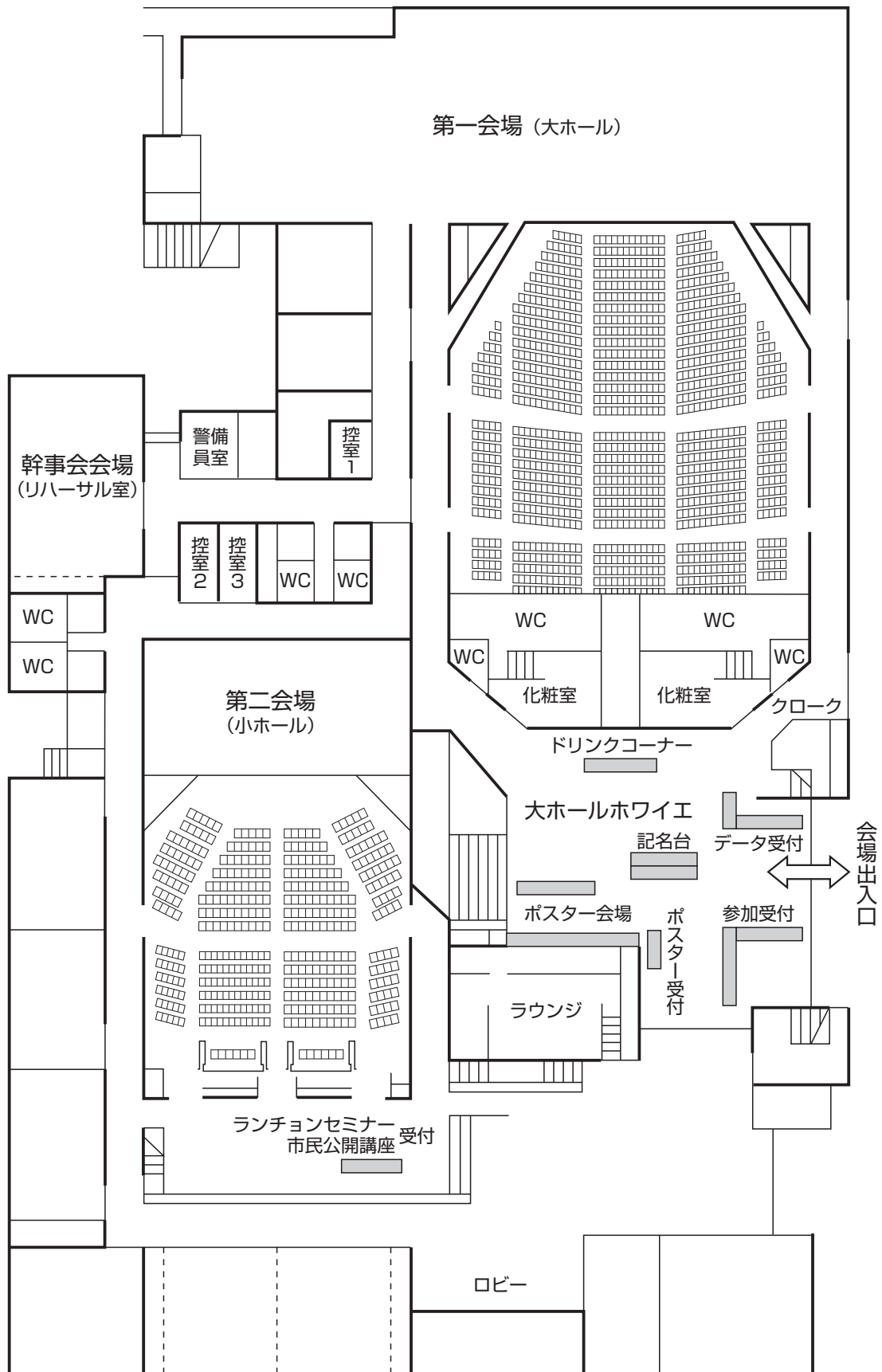
北口の階段を下りたら一番右の道を進み、小田急マルシェ(右)の前を通り、道なりにジギスカン(左)とファッションプラザはら(右)の間をしばらく進みます。横断歩道の手前で遠くに「伊勢原市農協」のビルがみえます。横断歩道を渡ってNTTを左に見て直進し、細い道にはいります。(ここまでの判りやすいルートとしては、北口をでてバスの駐車場を右にみて広い通りを進み、OKストアにつき当たったら右に曲がって進むと左手にNTTがあります。NTTを通り過ぎたらすぐに左の細い道にはいります。)細い道を抜けるとバス通りに出ますので、左に曲がります。道なりに右に90度曲がって信号のある横断歩道を渡り、JAいせはら(右)とヘアメイクAFARE(左)の間の細い道に入ります。そのまま道なりに真直ぐ行くと、正面に市役所の駐車場があります。目的地は、右手奥の建物です。

※専用駐車場はありません。

伊勢原市役所の駐車場を周辺の市の施設と共用で使用しています。

お車でのご来場はお控えください。

会場のご案内 (伊勢原市民文化会館)



参加者へのお知らせ

1. 参加者受付

場所：伊勢原市民文化会館 大ホール出入口脇

時間：2011年3月5日(土) 9:10～

参加費：事前振込(2月20日迄)をされなかった方は、当日、受付でお支払い下さい。

事前振込をされた方は参加証を受付で用意しておりますので、お申し出下さい。

領収書兼参加証の名札は、必ず着用して下さい。

日本医療マネジメント学会 学会員 1,000円

非 学会員 3,000円

2. プログラム・抄録集

プログラム・抄録集は受付時に名札とともに一人一冊お渡しします。

余分に必要な方は、一冊1,000円でおわけします。

3. 呼び出し

会場内呼び出しは行いません。

4. ドリンクサービス

大ホール ホワイエにドリンクコーナーを設けますので、ご利用下さい。

5. 会場内での飲食について

大ホール、小ホール内での飲食はできませんのでご注意ください。

各ホールのホワイエないしロビーでは飲食可能です。

従いまして、ランチョンセミナー終了後に昼食時間をとり昼食場所を確保してありますので、そちらでお召し上がり下さい。場所は当日ご案内します。

6. 講演会場内での撮影

カメラ、ビデオカメラ等の持込み、並びに撮影、録画、録音はご遠慮下さい。

7. 研修認定単位について

当学会への参加に対し、次の学会の単位が認定されます。

日本医師会 生涯教育講座 5単位

神奈川県病院薬剤師会後援研修 4単位

ご希望の方は受付に専用コーナーを設けておりますので、お申し出下さい。

8. 当日の幹事会のご案内

場所：伊勢原市民文化会館リハーサル室

(場所が分かりづらいので、13時頃から幹事ご案内係が立ちます。こちらにお尋ね下さい)

時間：13:30～14:00 (昼食時間)

発表者へのお知らせ

I. 一般口演

1. 発表時間

一演題7分(発表5分・質疑応答2分)

演台、ならびに座長席では、発表終了1分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプで合図を出します。

2. 発表形式

PC発表になります。3.の「PC発表データ作成について」をご参照下さい。データのプレビュー・お預かりはデータ受付にて行います。発表時間の約1時間前までにデータの受付を済ませて下さい。直前の演者が演台に立ったら、次演者席にお着きください。

3. PC発表データ作成について

口演のPC発表データは以下の要領で、決められた発表時間内に終了するよう作成してください。

【発表データの作成】

OS：Windowsのみ。ソフト：Office2007、2003 PowerPoint

メディア：USBメモリーに当日発表するパワーポイントのデータを入れてお待ちください。

- ・データはWindowsにおけるPowerPoint2007、2003で作成してください。また、画面レイアウトの乱れを防ぐため、特殊なフォントのご使用は避けてください。下記フォントの使用をお奨めします。

日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
 英語：Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New Georgia

- ・音声および動画は使用できません。
- ・画面のサイズはXGA (1024×768) です。
- ・データを入れたフォルダのファイル名は「演題番号_演者名」とし、このフォルダには発表に使用するデータ以外はいれなくてください。

【データの受付・返却】

- ・データ受付は出入口をはさんで参加受付の向かい側です。受付開始9:15～。
- ・データ受付ではデータのみを会場の発表用パソコンにダウンロードし、USBメモリーはその場でご返却いたします。
- ・発表のためにダウンロードしたデータは、会期終了後、事務局ですべて消去します。

II. ポスター発表

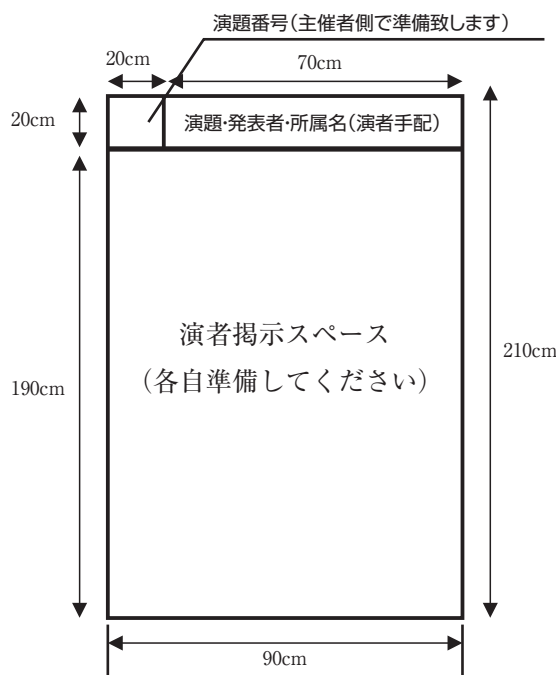
1. 発表時間

一演題5分（発表3分・質疑応答2分）
 ポスター発表の時間は14:50～15:50です。
 演題番号順に発表していただきます。
 時間になったら、お集まり下さい。

2. ポスターの掲示

掲示場所：大ホールホワイエ
 掲示時間：9:15～12:00
 撤去時間：16:00（セッション終了後）～17:25
 ポスター展示スペース：縦 190cm×横 90cm

ポスター会場脇のポスター受付で受付後、上記時間帯に、各自、通知されたポスター番号に従いポスターを掲示してください。演題番号【縦 20cm×横 20cm】は事務局にて用意し、パネルの左上にあらかじめ掲示いたします。演題・所属・発表者名は各自準備し、演題番号の右隣のスペース（縦 20×横 159cm）に掲示してください。画鋏は当日、ポスター受付にてお渡しいたします。撤去時間にお引取りのない場合は事務局にて処分させていただきますのでご了承ください。



※口演データやポスターに、個人を特定できるデータが含まれないようご配慮をお願いします。

司会・座長の先生方へ

担当セッションの開始30分前までに参加受付にお越し下さい。前司会・座長の降壇と同時に登壇してください。時間通りのプログラム進行にご協力をお願いいたします。

- ・一般口演は一演題7分（発表5分・質疑応答2分）で進行してください。発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了1分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。
- ・ポスター発表は一演題5分（発表3分・質疑応答2分）で進行してください。

プログラム

第1会場 大ホール

開 会 式

9:50-9:55 開会挨拶 第10回当番世話人 高木 繁治 東海大学医学部附属病院 副院長
 会長挨拶 神奈川支部会長 山本 登 菊名記念病院 理事長

一般口演：A-I 医療の質と満足	厚木市立病院 副院長・看護局長 横浜医療センター 看護部長	吉塚 弥生 小西 洋子
------------------	----------------------------------	----------------

- | | | | |
|-------|-----|--|-------|
| 10:00 | A-1 | 患者から選ばれる病院を目指す病院案内係の活動について
東海大学医学部附属病院 病院事務部 医事課 | 長谷部 徹 |
| 10:07 | A-2 | 時間枠予約制外来における待ち時間の検討
東海大学医学部附属病院 医事課 | 小長井由香 |
| 10:14 | A-3 | 夜間救急患者受け入れのための工夫
—安全で適切なケアを提供するための取り組み—
横須賀市立市民病院 看護部 | 渡辺美恵子 |
| 10:21 | A-4 | 「ナースング・スピリッツカレンダー」で看護への思いを共有
東海大学医学部附属八王子病院 看護部 | 下島 昇 |
| 10:28 | A-5 | 業務改善中で行う薬毒物中毒検査室
東海大学医学部附属病院 診療技術部 臨床検査技術科 | 宮澤 孝仁 |
| 10:35 | A-6 | 糖尿病看護ケア外来運営の現状とその評価
横浜医療センター 看護部 | 長嶋 美里 |
| 10:42 | A-7 | 糖尿病看護外来とフットケア外来での看護師の役割を考察する
横浜医療センター 看護部 | 櫻井 和香 |
| 10:49 | A-8 | 特定保健指導動機付け支援プログラム“TOK-Smart”で、減量を介して、
生活習慣病を改善させる
東海大学医学部附属病院 健診センター | 田邊 典代 |
| 10:56 | A-9 | 消化器外科・内科病棟における歩行周数表を導入した離床への取り組み
東海大学医学部附属病院 看護部11A病棟 | 大高 咲子 |

一般口演：A-II 人材育成	昭和大学横浜市北部病院 病院長	田口 進
----------------	-----------------	------

- | | | | |
|-------|------|--|-------|
| 11:03 | A-10 | 同一診療科の2病棟を対象にした部署別クリニカルラダー導入による効果
昭和大学横浜市北部病院 看護部 | 遠藤結香里 |
| 11:10 | A-11 | 部署別ラダー導入後の効果についての一考察
昭和大学横浜市北部病院 看護部 | 中濱 恵 |
| 11:17 | A-12 | 当院での新人教育の取り組み～夜勤体験研修・スパイラル研修の導入～
横浜医療センター 看護部 教育担当看護師長 | 黒澤 孝子 |
| 11:24 | A-13 | 離職中または在職看護師に対する、看護実践力向上プログラムの成果と今後の課題
東海大学医学部附属病院 看護部ICU病棟副主任 | 田澤 章子 |
| 11:31 | A-14 | トリアージナーズの教育～医療スタッフの統一理解に向けて～
東海大学医学部附属病院 高度救命救急センター | 埜 隆茂 |

基 調 講 演

11:40	脳卒中の地域連携，問題点と今後		
		東海大学医学部附属病院 副院長・神経内科教授	高木 繁治
12:00	司会	国立病院機構横浜医療センター 院長	高橋 俊毅

教 育 講 演

12:00	がんの地域連携，問題点と今後		
		済生会若草病院 副診療部長兼外科部長	佐藤 靖郎
12:30	司会	菊名記念病院 理事長	山本 登

特 別 講 演

14:00	病院のトップマネジメントはどうあるべきか		
		—病院事業管理者になって考える—	
14:40		平塚市民病院 平塚市病院事業管理者	別所 隆
	司会	東海大学医学部附属病院副院長	高木 繁治

パネルディスカッション	東名厚木病院 摂食嚥下療法部 課長	小山 珠美
	東海大学医学部附属大磯病院 看護部長	藤井 幸子

14:40	“チームで取り組む新しいJob”		
15:50	D-1 地域一丸となった看護師不足解消への挑戦		
	～厚木地区看護部長会の取り組み～		
	森の里病院 看護部		佐藤 克美
	D-2 急性期医療における摂食・嚥下リハビリテーションの実践と成果		
	東名厚木病院 摂食嚥下療法部		小山 珠美
	D-3 救急外来におけるトリアージナーズの役割と地域連携をめざした取り組み		
	東海大学医学部附属病院 看護部高度救命救急センター		黒田 啓子
	D-4 透析業務のシステム化に向けての取り組み		
	～保存期から一貫した受け持ちとチーム医療を目指して～		
	横須賀市立市民病院 透析室		中村 明宏

一般口演：A-III	栄養と嚥下	北里大学東病院 栄養部長	野口 球子
		関東労災病院 副院長	佐藤 譲

15:50	A-15 マウスケアアセスメントシートを用いた口腔癌患者の口腔ケアへの取り組み		
	東海大学医学部附属病院 看護部		加賀田 真弓

- 15:57 A-16 当院の嚥下チームの活動と今後の展望
—顔の見える連携を目指した嚥下勉強会—
横須賀市立市民病院 栄養管理科 財部 朋美
- 16:04 A-17 当院嚥下チームにおける摂食機能療法算定の取り組みについて
横須賀市立市民病院 リハビリテーション療法科 稲垣業緒美
- 16:11 A-18 急性期脳卒中患者へのチーム医療による摂食・嚥下リハビリテーションの
効果と経口移行に関する要因の検討
東名厚木病院 診療技術部 リハビリテーション科 黄金井 裕
- 16:18 A-19 新食事形態基準作成の取り組みについて
～根拠のある食事提供の為に～
鶴巻温泉病院 栄養科 佐々木理恵
- 16:25 A-20 ディスポーザブル栄養剤バッグの導入による効果について
東海大学医学部附属病院 栄養科 鈴木 太
- 16:32 A-21 腹膜透析患者における食塩・たんぱく質摂取量の客観的な算出法導入の試み
横須賀市立市民病院 栄養管理科 高橋 征平

一般口演：A-IV 地域連携	東海大学医学部附属病院 栄養科長 相模原協同病院 患者総合支援センター室長	藤井 穂波 波多江 優
----------------	--	----------------

- 16:39 A-22 「地域連携栄養ケア研究会」の地域支援への取り組み(第1報)
鶴巻温泉病院 栄養科 清水 幸子
- 16:46 A-23 「地域連携栄養ケア研究会」の地域支援への取組み(第2報)
～ワーキンググループの活動～
神奈川県秦野保健福祉事務所 保健福祉課 中塚さおり
- 16:53 A-24 秦野栄養士交流会の発足と活動
秦野栄養士交流会 谷垣由紀美
- 17:00 A-25 地域医療の現状と将来への課題
～当院における医療機器共同利用の観点から～
伊勢原協同病院 地域医療連携室 鈴木 達也
- 17:07 A-26 放射線治療による医療連携
相模原協同病院 放射線科(治療) 福原 昇
- 17:14 A-27 地域医療における病院前脳卒中スケールに基づくドクターヘリ搬送の検討
東海大学医学部 救命救急医学 本多ゆみえ
- 17:21 A-28 神奈川県西部地区における脳卒中医療連携推進の試み
東海大学医学部 内科学系神経内科 瀧澤俊也

閉 会 挨拶

17:30-17:35 第11回当番世話人 武者 春樹 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 副院長

プログラム

第2会場 小ホール

一般口演：B-I	医療安全	東海大学医学部附属病院 医療監査部 次長	谷亀 光則
		聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 副院長	武者 春樹
10:00	B-1	当院における医療安全対策の一助としての、移動動作介助講習会の紹介 東海大学医学部附属病院 リハビリテーション技術科	森山 剛
10:07	B-2	業務改善を通してダブルチェックの意味を考える 相模原協同病院 A3病棟	佐藤 美穂
10:14	B-3	当院におけるCVCサポートチームの取り組み 菊名記念病院 医療安全管理室	新村美佐香
10:21	B-4	病棟ラウンドから見るセントラルモニター講習会定期開催の効果 東海大学医学部附属病院 看護部	高澤智桂子
10:28	B-5	一般病棟における予期せぬ患者急変時対応訓練への取り組みと評価 東海大学医学部附属病院 看護部	五十嵐絵美
10:35	B-6	医療事故レポートの統計・分析方法の工夫と医師からの提出率向上への取組み 東海大学医学部附属病院 医療監査部医療安全対策課	佐藤 福子
10:42	B-7	予測不可能であった転倒・転落の現状と今後の課題 ～できごと報告書からのメディカルセーフターによる分析結果より～第一報～ 相模原協同病院 消化器病センターB8病棟	福地 由佳
10:49	B-8	血液内科病棟における転倒・転落の効果的防止対策の検討 横須賀共済病院 A棟8階病棟	清水 綾乃
10:56	B-9	排痰補助装置の臨床導入における取り組み —リハビリテーション科での関わりについて— 東海大学医学部附属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科	立松加寿子

一般口演：B-II	褥瘡・感染	菊名記念病院 副院長	村田 升
11:03	B-10	非侵襲的陽圧呼吸時のマスク装着による皮膚障害予防の取り組み 横浜医療センター 看護部	牧野麻希子
11:10	B-11	集中治療室院内感染予防対策の検討 菊名記念病院 集中治療室	川田 静子
11:17	B-12	結核患者の感染防止に関する取り組み 厚木市立病院 看護局	高橋 達也
11:24	B-13	標準予防策に基づくオムツ交換・尿破棄方法の浸透への取り組み 東海大学医学部附属病院 看護部	横山 美穂

ランチョンセミナー

12:40	脳卒中診療におけるCSR (Corporate Social Responsibility) —Stakeholder (患者さん・クリニック・病院)の視点から—		
13:30	医療法人白十字会 白十字病院 副院長 (神経内科)	入江 克美	
	司会 東海大学医学部附属病院 副院長	高木 繁治	

市民公開講座

14:00 震災後のエコノミークラス症候群とその予防
 | 新潟大学医学部呼吸循環外科 助教 榛沢 和彦
 15:30 司会 東海大学医学部附属病院麻酔科教授 鈴木 利保

一般口演：B-Ⅲ クリティカルパス 総合高津中央病院 薬剤部長 宮崎 美子

16:00 B-14 質の高いパス作成を目指して
 横須賀市立市民病院 西6階病棟師長 高田なほ子
 16:07 B-15 当院における輸血パスの作成について
 ～輸血副作用観察の強化と看護記録の標準化・簡素化を目指して～
 菊名記念病院 看護部 足立 綾
 16:14 B-16 DPC制度下におけるクリティカルパスの活用
 ー後発医薬品(GE薬)の適正な導入に向けた試みー
 総合高津中央病院 薬剤部 宮崎 美子
 16:21 B-17 糖尿病内分泌内科および眼科におけるクリティカルパス使用における
 利点と問題点について
 横浜医療センター 看護部 山下 勇樹
 16:28 B-18 電子カルテで運用する腹腔鏡下虫垂切除術パス
 ー当院におけるクリティカルパスの現状と今後の展望についてー
 菊名記念病院 外科 太田 篤

一般口演：B-Ⅳ その他 海老名総合病院 看護部長 坂元 了子
 横須賀市立市民病院 副看護部長 後藤美恵子

16:35 B-19 一般診療所の地域偏在に関する研究
 ー人口10万人対一般診療所数の変遷の観点からー
 自由が丘産能短期大学 伊藤 敦
 16:42 B-20 当院における災害備蓄食品の運用改善への取り組み
 東海大学医学部附属八王子病院 診療協力部 栄養管理科 小野由起子
 16:49 B-21 若手職員が貢献！ ～活性化ワーキング～
 東海大学医学部附属東京病院 薬剤科 猪狩 賢蔵
 16:56 B-22 血液製剤廃棄削減への取り組みと現状～当院の輸血療法委員会活動～
 菊名記念病院 臨床検査科 黒川由紀子
 17:03 B-23 パックのばらしを減らそう
 ～QCストーリー問題解決型を使用しての業務改善～
 海老名総合病院 薬剤科 澤田 寛之
 17:10 B-24 院内助産適応妊産婦判定基準作成にむけた過去3年間の助産録の分析検討
 昭和大学横浜市北部病院 看護部 太田 千春
 17:17 B-25 当院における禁煙外来の役割
 横須賀共済病院 外来 穂山 静佳

プログラム

ポスター会場 大ホールホワイエ

ポスター発表：P	昭和大学横浜市北部病院 東海大学医学部附属病院	医療教育支援室長・教授 薬剤部長	成島 道昭 長田 悟
14：50 P-1	当院でのプレアボイド活動報告 横須賀市立市民病院 薬剤部		伊藤 卓也
14：55 P-2	看護師による気管カニューレ抜去に向けての取り組み —閉塞予防から対応までの講習会を実施して— 東海大学医学部附属病院 看護部 NICU病棟 主任		西 江利子
15：00 P-3	院内共通の内服自己管理フローチャート作成を目指して 東海大学医学部附属病院 看護部		木曾夕美子
15：05 P-4	チームナース体制における新人メンバーシップ行動の特徴 —新人看護師と2年目看護師の比較— 海老名総合病院 看護部		竹村 華織
15：10 P-5	「中心静脈ポート取扱い登録看護師制度」の取り組みの報告 —「人間の品質保証」の効率性について考える— 昭和大学横浜市北部病院 医療安全管理室		武藤 朋子
15：15 P-6	2009年度尿路感染サーベイランスおよび尿道留置カテーテル管理に関する アンケートの結果報告 東海大学医学部附属病院 看護部		信太 裕治
15：20 P-7	当院における医療機器マネジメントについて ～電子データベースの作成と運用～ 東海大学医学部附属大磯病院 診療協力部 人工腎室		小栗 直也
15：25 P-8	医療保険制度への挑戦～DPCにおける高額医薬品の使用と問題点～ 東海大学医学部附属病院 薬剤部		横山 直
15：30 P-9	薬剤管理指導「1」を組み込んだTDM業務 ～高度救命救急センターでの薬学的アプローチ～ 東海大学医学部附属病院 薬剤部		鈴木 清佳
15：35 P-10	災害拠点病院における自治体の災害用備蓄医薬品の運用 東海大学医学部附属病院 薬剤部		小澤 豊一
15：40 P-11	簡易懸濁法導入に向けた外来患者家族への関わり 東海大学医学部附属大磯病院 診療協力部薬剤科		大矢 繭子

クリティカルパス展示

C-1	帝王切開 川崎市立川崎病院 看護部	山口さと美
C-2	婦人科開腹腫瘍切除術 東海大学医学部附属病院 看護部	小泉 秀子
C-3	口蓋扁桃摘出術 伊勢原協同病院 4 東病院	渡辺 幸枝
C-4	乳癌 平塚市民病院 5 西病棟	菊川 綾乃